

令和8年度 北九州市立鳴水小学校経営案

学校教育目標 <知育・徳育・体育のバランス>

かしこく 心豊かな たくましい 子どもの育成

北九州市学校教育の目標【目指す子どもの姿】

- ◎ 自立し、思いやりの心をもつ子ども
- ◎ 新たな価値創造に挑戦する子ども
- ◎ 本市に誇りをもつ子ども(シビックプライド)

黒崎中学校区【目指す子ども像】

- 主体的に学習に取り組み、学力をしっかり身に付ける子ども
- 友だちとの協力・協働を通して、よりよい人間関係づくりができる子ども
- 挨拶や時と場に応じた言葉づかいができる子ども
- 時間やルールを守って生活する子ども

【目指す学校像】

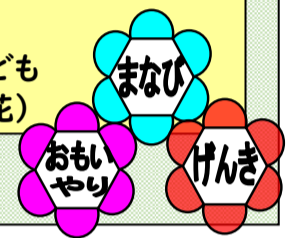
- 子どもが安全に、安心して学び生活できる学校
- 温かな心をもった子ども・教職員のいる学校
- 保護者・地域に信頼で結ばれた学校

鳴水小学校【目指す子ども像】

○ かしこい子ども
自ら学び、よく考え、行動する子ども
(まなびの花)

○ おもいやりのある子ども
自分や相手を大切にできる子ども
(おもいやりの花)

○ たくましい子ども
健康で意思の強い子ども
(げんきの花)



3つの花を大きく さかせましょう

【目指す教職員像】

- 子どもの力を伸ばすために、日々の授業を大切にする教師
- 自分の果たすべき役割を自覚し、互いに知恵を出し合い、協力、協働する教師
- 子ども、保護者、地域と相互に理解を深め、期待と信頼に答える教師

< 学校運営の重点的指導項目 > ~ 安全・安心な学校づくり ~

○ まなびの花「かしこく(知)」

学ぶ力の基盤づくりの推進

- ・ 学習規律「スタンダード」の定着
- ・ 家庭学習との連動や自主学習の取組の強化
- ・ 中学校区での目指す子ども像等の共有

基礎学力の定着

- ・ 専科や持ち合い授業による専門的な授業
- ・ 朝自習の時間等に AI ドリルの活用

主体的に学び続ける子どもの育成

- ・ 「わかる授業」づくり5つのポイントの確実な実施
- ・ ICT を効果的に活用した授業づくり
- ・ 主体的・対話的で深い学びの実現
- ・ 「個別最適な学び」と「協働的な学び」による授業改善

- ・ 「形成的評価」を生かした指導を一層充実させ、指導と評価の一体化を図る
- ・ OJT による指導力等の向上

「身近に本、気軽に読書」を合い言葉に、校内の読書活動を推進

- ・ 図書室の学習への積極的な活用
- ・ 読み聞かせや自由読書等の読書活動の推進(ぴー・か・ぶーとの連携)
- ・ 新読書プラン推進

○ おもいやりの花「おもいやり(徳)」

自己有用感を高める取組

- ・ 自己を認める活動、友達や指導者から認められる活動、友達を認める活動

生徒指導の充実

- ・ 「なる水っ子の生活」遵守による規範意識の向上

- ・ 教職員間で情報共有し、組織的な対応

- ・ 保護者に対して1つ上対応の心がけ(連絡帳→電話→家庭訪問)

特別活動の工夫と充実

- ・ 縦割活動、異学年交流(保育園・幼稚園、中学校含)による心の育み

一人一人を大切にする「心の教育」の充実

- ・ 道徳科の授業の質的向上(ICTの効果的活用、「考え、議論する道徳」の道徳授業の実践等)

いじめ未然防止に向けて

- ・ 心と体のアンケート、心の健康観察簿等の活用

- ・ SNS 等の急速な発展・普及に対応した取組(保護者への啓発含)

特別支援教育の充実と推進を図る

- ・ 交流及び共同学習の充実
- ・ 校内支援体制の充実と保護者や関係機関との連携
- ・ ケース会議等による情報共有

○ げんきの花「たくましく(体)」

安全・安心な学校づくり

- ・ 安全教育、施設管理の推進
- ・ 管理職、養護助教諭、担任が連携した健康教育や食育の推進・アレルギー給食対応の確実な実施
- ・ 迷わず救急搬送、病院受診

感染症対策を踏まえた指導

- ・ 換気や手洗い・手指消毒の実施
- ・ 感染症等流行時の家庭への啓発
- ・ 熱中症予防対策の実施

あいさつの推奨

- ・ 進んで明るくあいさつできる子の育成
- ・ (小中連携あいさつ運動の実施)

体力向上の推進

- ・ 新体力テストの全学年・全種目での実施
- ・ 子どもが楽しみながら資質・能力を身に付ける体育科の授業の充実
- ・ 体力向上週間の取組
- ・ 体育科専科指導

環境美化の充実

- ・ もくもく掃除をする子の育成

長期欠席(不登校)への対応

- ・ 校内の居場所づくり(ステップアップルームの整備等)
- ・ ICT や関係機関(教育支援室等)を活用し、学びの場を確保
- ・ SC や SSW 等との連携

【働きやすい職場環境の整備】

- 「学校における業務改善プログラム」の着実な推進
 - ・ 子どもと向き合う時間の確保やワーク・ライフ・バランスの充実
 - ・ 教職員一人一人が当事者意識をもち、ボトムアップで業務改善を推進することができる組織体制の構築
- 不祥事防止

【家庭・地域との連携】

- 家庭学習習慣の定着・・・自主学習の取組
- 国型学校運営協議会での熟議
- 地域や企業等の人材と積極的に連携・協働する。
- 情報の積極的な発信による保護者、地域へ啓発(学校・学年・学級だより、授業参観・懇談、学校 HP、学校・学年行事への招聘、地域行事参加等)